

第五回 天龍峽詩歌募集 入選作品集

応募期間／平成二十四年九月一日～二十五年八月三十一日
応募数／五百四点（俳句二百三十二点・短歌百十点・川柳百六十二点）



■俳句部門

林悠司 先生選

応募数二百三十二点

【特選】

巨岩打つ波に漂う花いかだ

川田 洋子（飯田市）

吊橋を描く絵手紙夏見舞

松谷 忠和（山形県）

桧笠灼け船頭の竿捌き

土谷やすお（飯田市）

【秀逸】

天龍峽の流転紅葉や万華鏡

園田 香魚（山梨県）

万緑のひかり眩しむ龍角峯

山本 久子（石川県）

巖つつじ鳴鶴めいかくじつしょう十勝名を刻む

宮下 和家（飯田市）

天龍の流れに添うや冬銀河

小田 慶喜（兵庫県）

絵になりし新緑の窓天龍峽

小林 美鈴（飯田市）

【佳作】

天龍の岩にかんざし山つつじ

中野 弘樹（埼玉県）

息白し足湯に声を遊ばせて

木下登史江（飯田市）

龍角峯縦横無尽の岩燕

熊谷喜八郎（飯田市）

紅葉散る天龍峽の舟溜まり

谷 保夫（愛知県）

渦秘めし流の底や薄紅葉

三木 敬子（徳島県）

投網打つ腕黒々と夏の風

甕 悦子（安曇野市）

夏猛ける舟の響きをひきながら

長沼 昌司（高森町）

溪谷は永遠に変らず若葉光

久保田幸江（飯田市）

岩肌の滑りやすくて初つばめ

桑田 澄江（飯田市）

天龍川の岩つやややかに新樹雨

後藤 芳枝（飯田市）

舟下りゆるりと過ぎぬ今年竹

木下 倭子（飯田市）

天龍川の流れは速し谷若葉

市沢みゆき（飯田市）

つつじ橋心もゆれる夏休み

小林 智子（三重県）

天龍の湯に癒されつりんご食む

小田中準一（千葉県）

緑陰をえぐり天龍川舟下る

宮下 泰子（飯田市）

水温む夫と向かひて鯉料理

石川 圭子（愛知県）

天龍峡舟べり近き初音かな

袴田 克臣（静岡県）

■短歌部門

応募数百十点

【特選】

姑射橋こやぎょうに満開となりし垂れ桜渡る人等を励まし癒す

林 利恵（飯田市）

歌碑を背に天龍峽の満天星どうだんは朱に輝き夕日受けをり

木下みつき（飯田市）

【秀逸】

船頭の櫂かいのさばきに見とれば岩に碎けししぶきが散りぬ

岡田 孝道（埼玉県）

老妻の少女のように輝いた瞳をのせて下る天龍

中野 弘樹（埼玉県）

アキアカネ軸先しほにとめて盆過ぎの天龍峽を舟下りゆく

元島 武子（飯田市）

【佳作】

句碑歌碑を訪ね歩いて吊り橋に立てば溪谷みどりに揺れる

小田中準一（千葉県）

天龍峽川の流れは変わらないりんごの足湯で君は微笑む

小林 順子（愛知県）

寒鯉の静かに春を待ちわびぬ雪降る淵をこたつ舟往く

小田 慶喜（兵庫県）

信濃では龍暴れ行く川ありて舟下り楽し天龍川

後藤 幸雄（飯田市）

命ありて天龍峽を訪れぬ地元信濃の人みなやさし

牧村とみ子（奈良県）

土産屋の店に並びて光りあふ天龍峽焼きの味をたのしむ

長沼 昌司（高森町）

投網打つ水面に白き波を立て青き空まで網は開けり

小田 和子(兵庫県)

天龍峽百年前の明るさを力をあわせてとりもどすんだ

梶本 瑠衣(竜峡中)

天龍峽百年前は観光地またあの頃へ戻ってみたい

羽場絵里奈(竜峡中)

■川柳部門

応募数百六十二点

【特 選】

祖母と来た天龍峽に孫を連れ

岡田 孝道(埼玉県)

【秀 逸】

家族旆笑顔はじける遊歩道

小林 櫻子(三重県)

癒されて何度も来たい天龍峽

ゆずぼう(山形県)

【佳 作】

乗りあうも一期一会の川下り

和泉まさ江(神奈川県)

吊り橋に夫婦の絆試される

ヤジロベー(千葉県)

だらだになア飯田なまりの案内所

原 ちふみ(阿智村)

天龍峽手をふる笑顔橋と船

秀 夫(愛知県)

天龍の紅葉を写メに川下り

とうちゃん(東京都)

婚活で幸せの鐘乱打する

散 歩(千葉県)

温泉に歳三つほど置いてゆく

小田 和子(兵庫県)

■天龍峡ふれあい賞《天龍峡のお店や施設からの賞です。》

【尾曾写真館賞】

天龍に焼物ありき里の春

うどんやこうじ(愛知県)

【こや堂賞】

フルムーン影が寄り添う昇龍泉幸福の鐘ふたりで鳴らす

散歩(千葉県)

【峡泉賞】

あじさいの青が涼しきかくれ宿

上野 志保(埼玉県)

【辻本屋賞】

龍の年ご縁いただく小旅行

増井 純子(奈良県)

【天龍峡温泉交流館賞】

帰省して入口開き希望わく天龍峡の栄確信

松下 泰志(東京都)

【天龍ライン下り賞】

市丸の唄にさそはれ舟下り

秀夫(愛知県)

【時路屋賞】

ときじやはなんでもうまいさいこうだ

森本 真夜(飯田市)

【萩賞】

四季うつす店先の花かざり物しばし忘るる常のせわしき

上野 志保(埼玉県)

【広庭農園賞】

負けました草刈る姿ばあちゃんに

チューさん(奈良県)

【フクザワ賞】

紅葉に声上げており飯田線くぐるトンネル一三六

榊原はる子(愛知県)

【三輪楽雅堂賞】

伝統の技の光りし篆刻てんこくの天龍峡焼きをわれも買ひたる

長沼 昌司(高森町)

【龍峡亭賞】

秋おれて鯉の味よし龍峡亭

斉藤友右丞(愛知県)

【りんご足湯賞】

もみじ晴れ孫と足湯のりんご顔

西本 豊重(愛知県)

*一部、作品の漢字や仮名遣いを修正させて頂いている場合があります。
また、天龍峡では、「天龍峡」の「りゅう」の字を「竜」ではなく「龍」を推奨しており、
そのように変更させて頂いている場合がありますがご了承下さい。
なお、誤字脱字がありましたらご容赦下さい。

天龍峡観光再生実行委員会

